



## シャワータワー

BASB - 9090C

# 据付工事説明書

## もくじ

・安全上のご注意	1
・工具および資材／付属品	2
・設置上のご注意／設置前の確認	3
・据付手順	4～12
・製品寸法図・仕様	13
・据付け後の点検・清掃・養生	14

# 安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

	この表示の欄は「 <b>取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度</b> 」をいう。
---	---

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、 <b>製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する</b> 図記号です。
	この図記号は、 <b>製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する</b> 図記号です。

■据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

■本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

	
<p>水道工事は、関連する法令・規程に従って必ず「<b>有資格者</b>」が行ってください。</p> <p></p> <p>水漏れの原因になります。</p>	<p>椅子等の上に乗って作業をしないでください。</p> <p></p> <p>足を滑らせて、ケガをする恐れがあります。</p>
<p>給排水管の接続部分は、必ずシールしてください。</p> <p></p> <p>水が漏れ、家財が汚れたり腐る恐れがあります。</p>	<p>工事に使われる溶剤・洗剤・その他薬品類は、容器などに記載されている注意表示に従って正しくお使いください。</p> <p></p>
<p>シャワータワー周囲のシーリングは、工事説明書に従って確実に行ってください。</p> <p></p> <p>工事に不備があると、水漏れの原因になります。</p>	<p>誤った使い方をすると人体に影響が出たり、使用部材の劣化や損傷の原因になることがあります。</p>

## 工具および資材

シャワータワーの据付工事には下記の工具と資材が必要です。事前に用意してください。

### ■工具類

- ・スケール（2m以上）
- ・水平器
- ・ドライバー（+、-）
- ・電動ドライバー（+）
- ・精密ドライバー（+、-）
- ・電動ドリル
- ・ドリル刃（Φ8、金属用）
- ・カッターナイフ
- ・脚立（高さ1m以上、脚部ゴム付）
- ・コードドリル
- ・シーリング用ガン
- ・ノコギリ（塩ビパイプ切断用・木工用）
- ・投光器
- ・モンキーレンチ

### ■資材類

- ・マスキングテープ（シーリング用）
- ・塩ビ管用接着剤
- ・ウエス
- ・ラワンベニヤパッキン（厚さ各種）
- ・毛布（養生用2~3枚）
- ・洗浄用ガソリン（工具類洗浄用 本体を汚さないため）
- ・手袋
- ・配管用シールテープ
- ・シーリング材（クリア）
- ・塩ビエルボV P 30 1個
- ・水止めテープ 1個

## 付属品

下記の部品が付属されています。不足が無いか確認してください。

部品名	数量	使用目的
六角ボルト（ステンレス） M8×25	10	
ナット（ステンレス） M8	10	シャワータワー本体上部、下部の組立て
平ワッシャー（ステンレス） M8用	20	
タッピンネジ（ステンレス） 3.5×19	8	
平ワッシャー（ステンレス） M4用	8	ガラスドアのフレームを取付ける
ブラケット	2	
アンカー Φ8	2	
タッピンネジ 5×50	2	
タッピンネジ（ステンレス） 3.5×19	2	壁にシャワータワー本体を据付ける
樹脂キャップ	2	
スペーサー	2	
排水ホース	一式	配管接続

## 設置上のご注意

### ■設置場所の確認

- ・本製品は、浴室に設置することをおすすめします。

※浴室以外に設置する場合は、防水パンを設置する等、必ず床や壁に**防水処理**を施してください。

### ■換気について

- ・**換気窓**や**強制換気類**を設置してください。

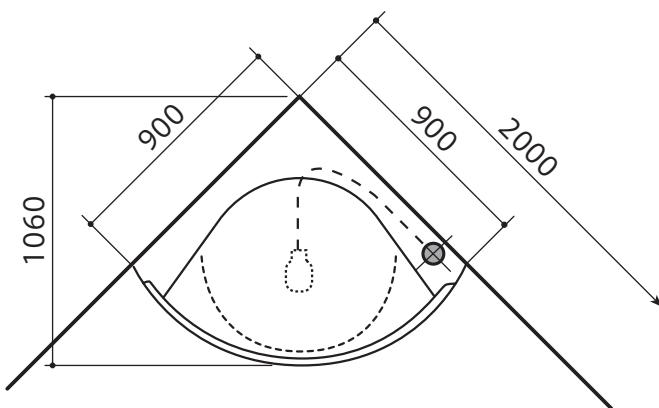
## 設置前の確認

### 1. 設置スペースの確認

- ・設置面積 900mm×900mm以上

※設置コーナーから2m以内は物を置かないでください。（メンテナンス時に必要なスペースです。）

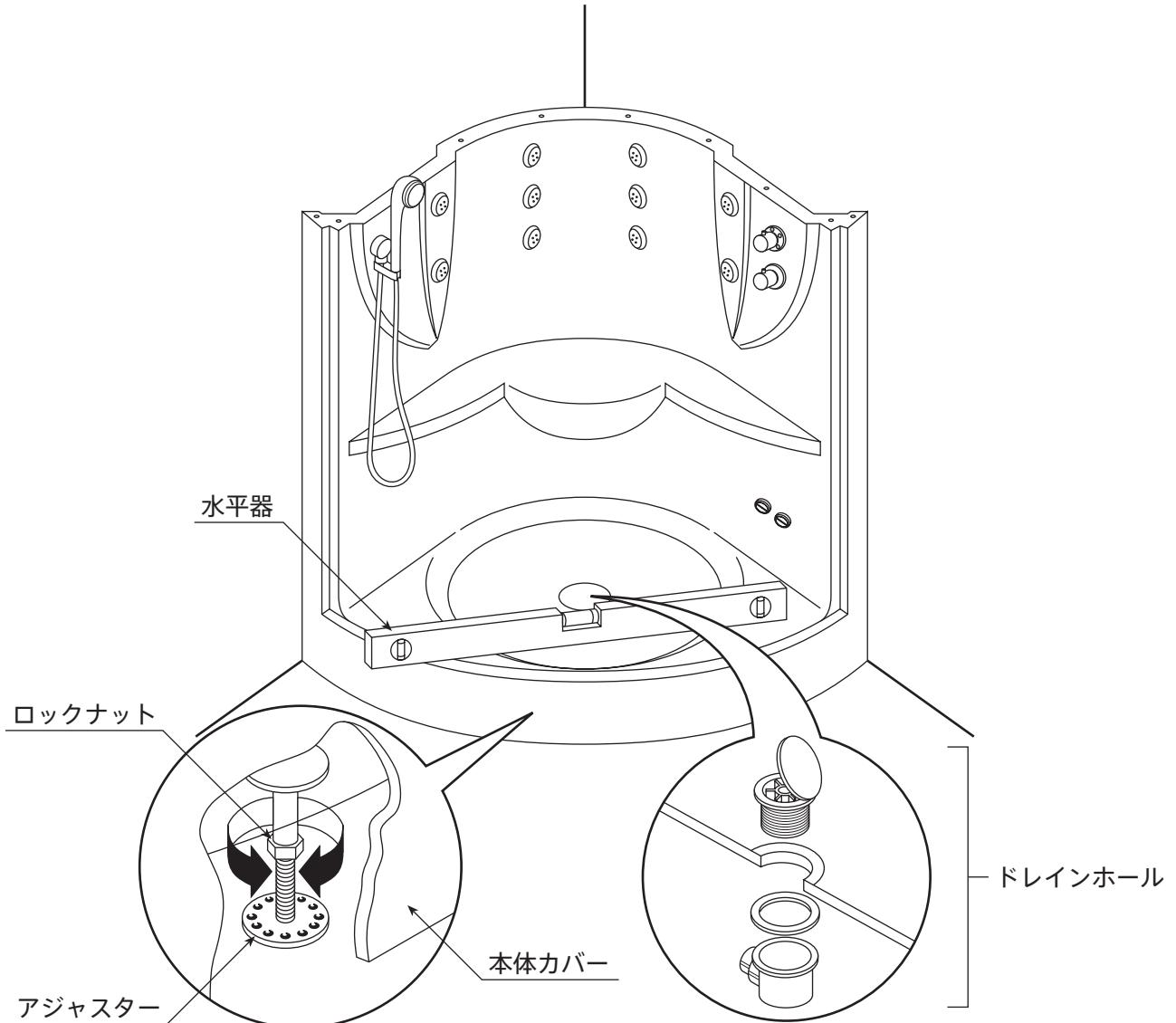
- ・有効天井高が2400mm以上必要です。



### 2. 設置場所の確認

- ・搬入・組立てまでに、給・排水の引き込み（別途工事 ※位置は製品寸法図参照）が終了していることを確認してください。

■シャワータワー本体の設置



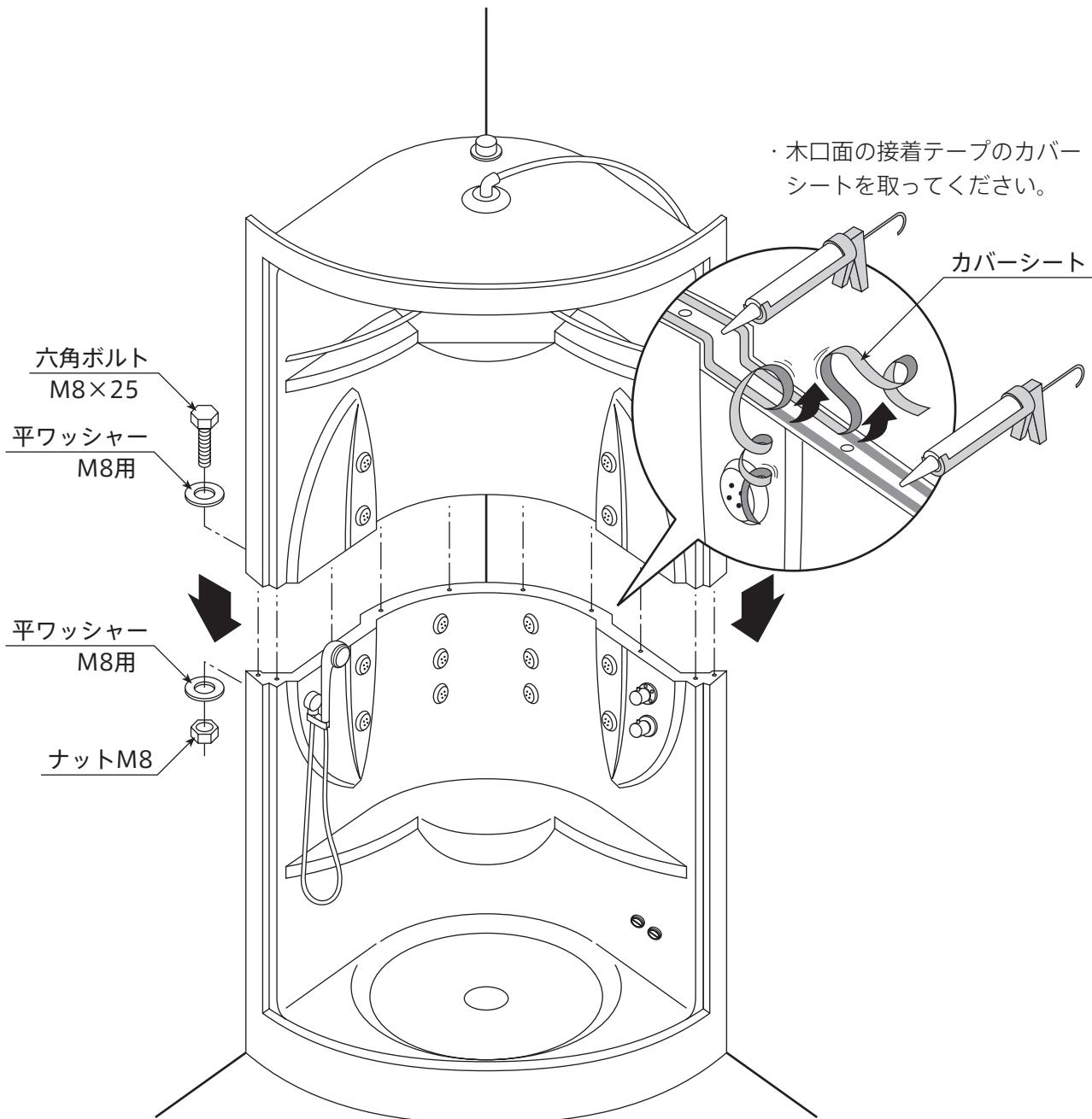
・アジャスターを調整して水平を出します。  
調整後は、ロックナットで固定してください。  
※本体カバー部は接地しないようしてください。

・ドレンホール（排水穴）を組立てます。  
※組立てた状態で出荷されます  
が、しっかりと固定されているか確認してください。

### ■シャワータワー本体の組立て

・木口のボルト穴を揃え、シャワータワー本体下部の上に本体上部をのせ、ボルトで固定してください。

※組立てた状態で出荷されますが、シールされていませんので、下記の要領で接続してください。

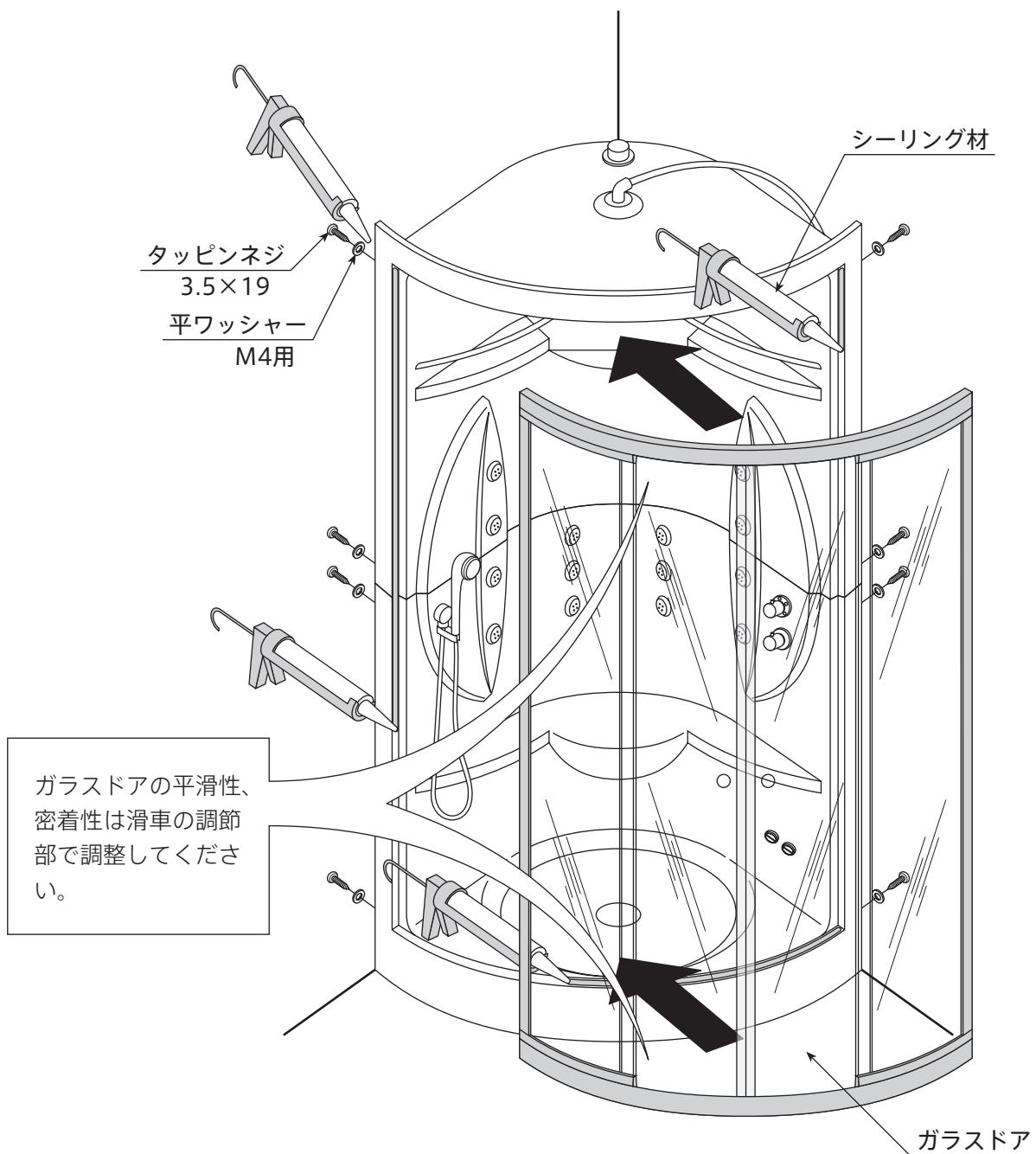


### ■ガラスドアの取付け

- ガラスドアの溝全周にシーリング材を塗り、取付穴を揃えてガラスドアのフレームを接着します。その後、ガラスドア固定穴にシーリング材を塗布し、タッピングネジに平ワッシャーを通して固定してください。

※シーリング材は、水漏れしないように隙間を埋め尽くすように塗ってください。

特に、ガラスドア下部およびコーナー部はしっかりシーリングしてください。



■本体の配管接続

A・B：ボディーシャワーの接続

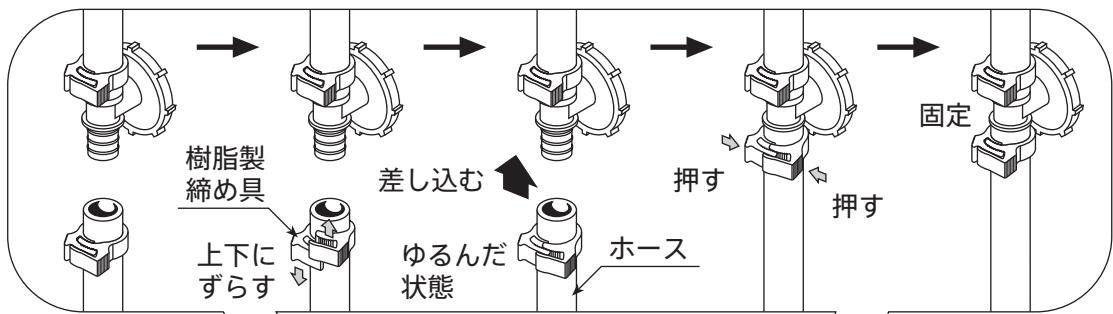
- ・樹脂製締め具を上下にずらし、外します。

※あまり強い力で無理やり外すと、破損する恐れがありますのでご注意ください。

- ・樹脂製締め具を少しづらめた状態でホースを差し込みます。

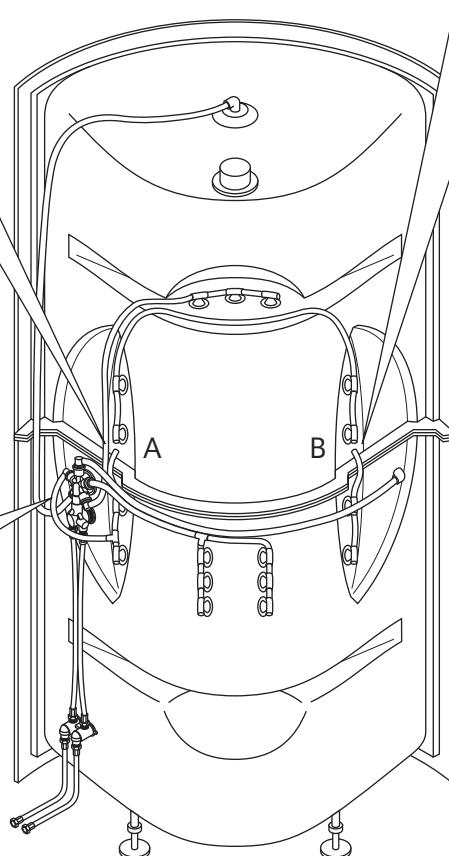
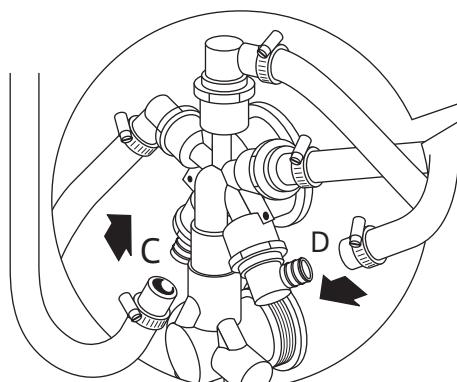
- ・樹脂製締め具の左右から押し、ホースを固定します。

※プライヤー等を使用して、一番奥の溝までしっかりと締め付け、樹脂製締め具がずれないように固定してください。

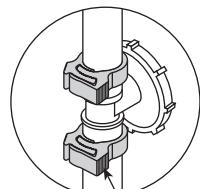


C：  
メインシャワーの接続

D：  
ショルダーシャワーの接続



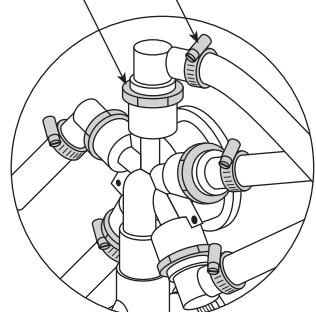
□締め付け確認箇所



樹脂製締め具

配管接続部分

ホースバンド



【確認事項】

- ・本体の配管接続後、全てのホースバンド、樹脂製締め具、配管接続部分等にゆるみが無いか確認してください。

※納品時にゆるんでいる場合がありますので、必ず全ての締め付けを確認してください。

## ■水道工事

## ●給水・給湯の接続

- シャワータワーの給水管（青）および給湯管（赤）を、事前に壁に配管してある給水／給湯管に接続してください。

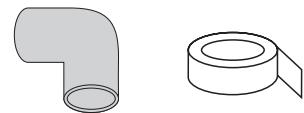
※ 本体外側に止水栓を設置することをおすすめします。（メンテナンス用）

- 接続が完了したら、吐水、止水を繰り返し行い、各接続部分から水漏れが無いか確認してください。

## ●排水の接続

## 【普通配管の場合】

※ 事前に塩ビエルボV P 30（1個）、水止めテープ（1個）を用意してください。



- シャワータワーに付属されている排水ホースの先を回して外します。塩ビエルボ 水止めテープ一方の先をシーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。

もう一方の先は事前に準備しておいた塩ビエルボV P 30に交換し、シーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。

- 排水ホースを本体のドレインにシーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。

※ この時、ドレインが本体に完全に接着固定されているか確認してください。

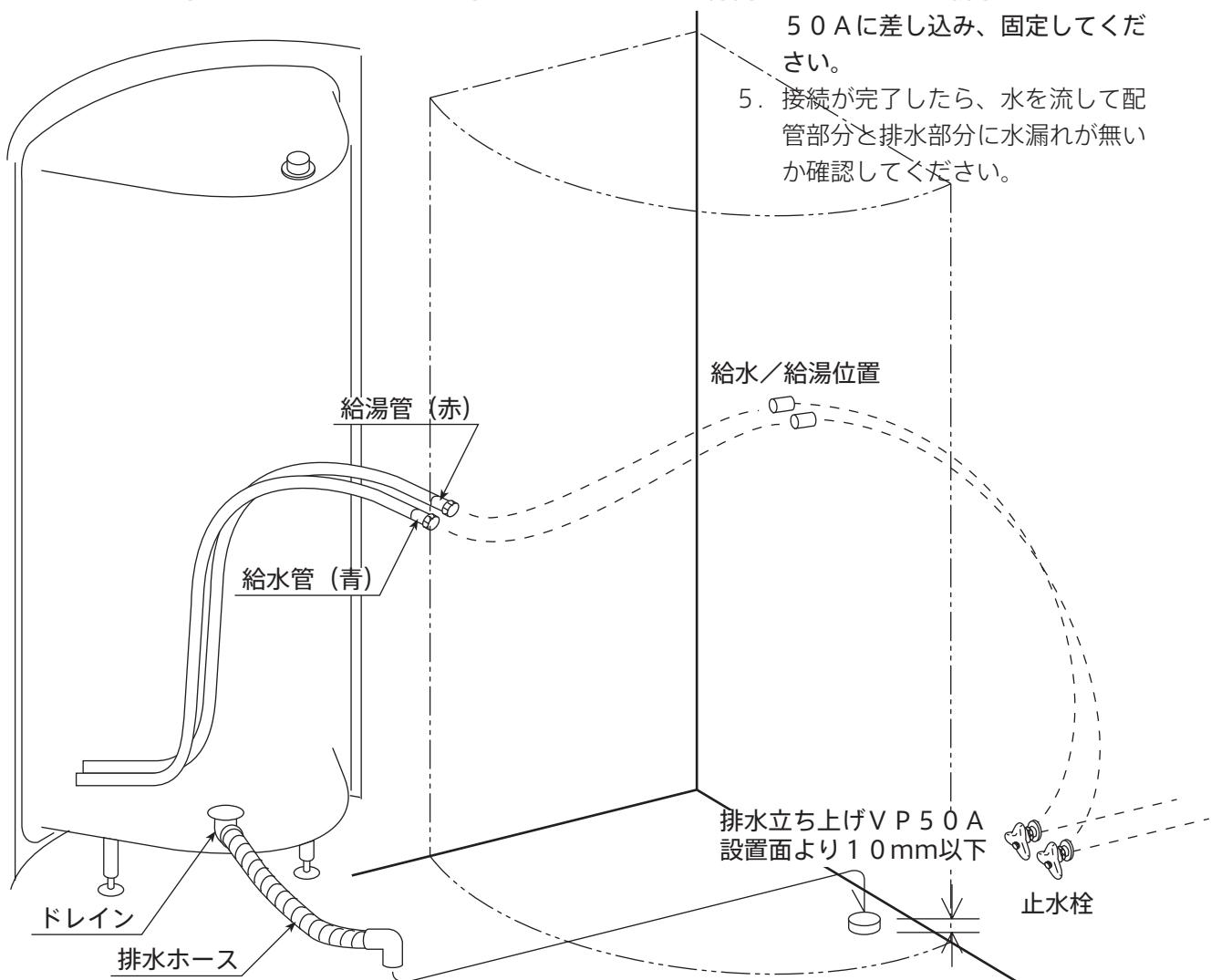
- 排水立ち上げV P 50 Aを設置面から10mm以下にカットします。

- 排水ホースの塩ビエルボV P 30を排水立ち上げV P 50 Aに差し込みます。

※ この時、塩ビエルボV P 30に水止めテープを巻き、隙間ができないように排水立ち上げV P

50 Aに差し込み、固定してください。

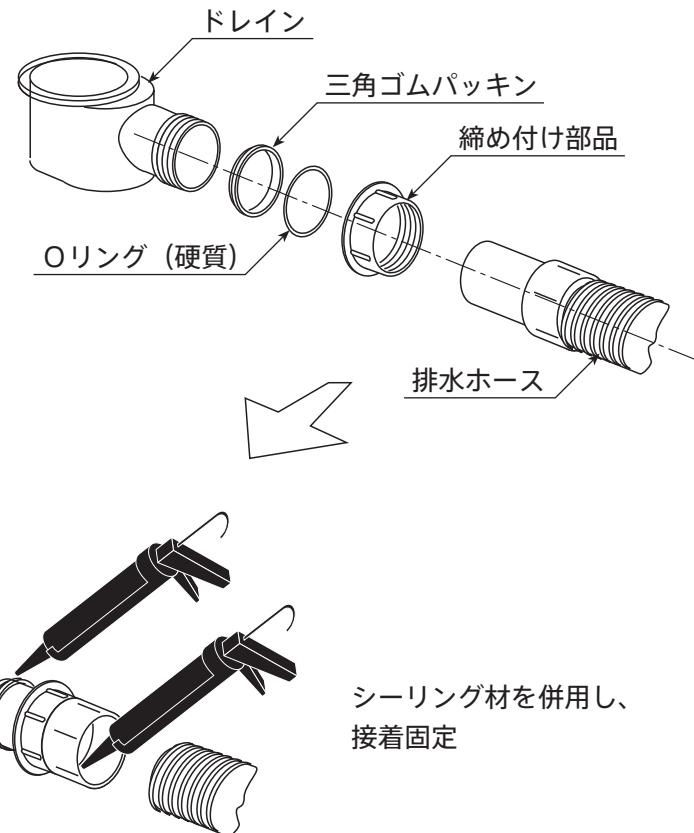
- 接続が完了したら、水を流して配管部分と排水部分に水漏れが無いか確認してください。



## 据付手順 6

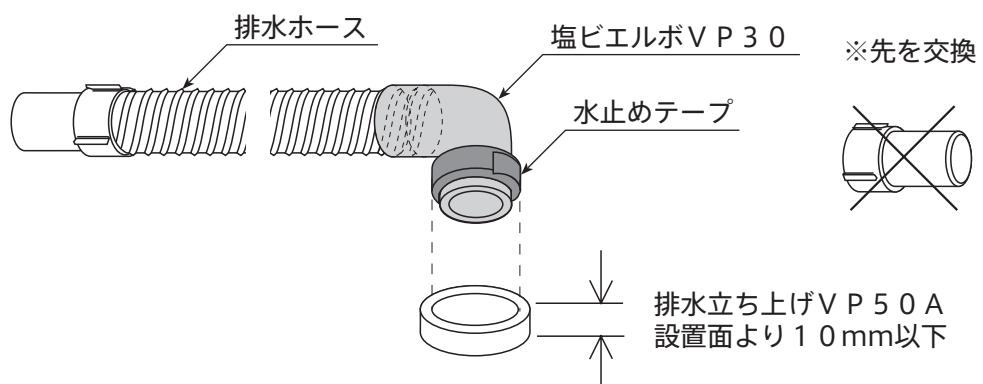
### 排水ホースの接続

- 排水ホースに締め付け部品、Oリング（硬質）、三角ゴムパッキンを通します。
- 三角ゴムパッキンと排水ホース内にシーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。



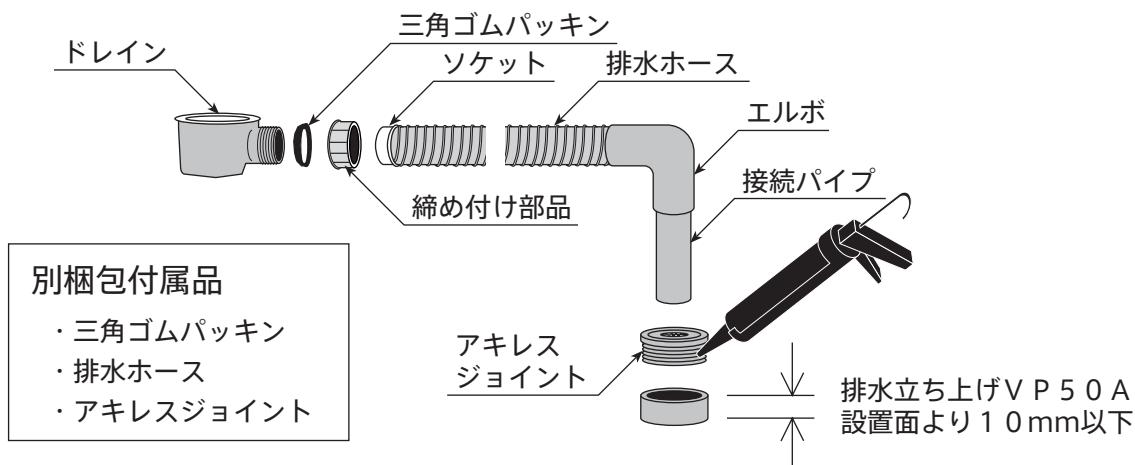
### 排水ホースの加工

- 排水ホースの先を事前に準備しておいた塩ビエルボV P 3 0に交換し、水止めテープ（別途準備品）を巻き、排水立ち上げV P 5 0 Aの径に合わせます。
- 配管はシーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。



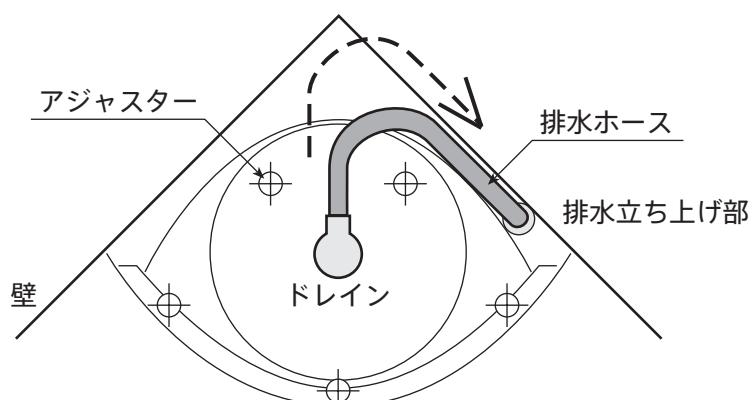
【直結配管の場合】

1. シャワータワーに付属されている三角ゴムパッキンと排水ホースを別梱包付属品と交換します。
  2. 排水ホースのソケット側に、締め付け部品と三角ゴムパッキン（尖っている方が先端にくるよう、ソケットの奥までしっかりとめ込んでください）を取付けます。
  3. ドレンに締め付け部品を締め込みます。
- ※ この時、ドレンが本体に完全に接着固定されているか確認してください。
4. 施工条件に応じて、接続パイプを必要な長さにカットします。
  5. 排水立ち上げVP50Aを設置面から10mm以下にカットします。
  6. アキレスジョイントを排水立ち上げVP50Aへシーリング材を併用して水漏れしないよう接着固定します。
  7. 排水ホースのエルボ側をアキレスジョイントに根元まで確実に差し込みます。
  8. 接続が完了したら、水を流して配管部分と排水部分に水漏れが無いか確認してください。



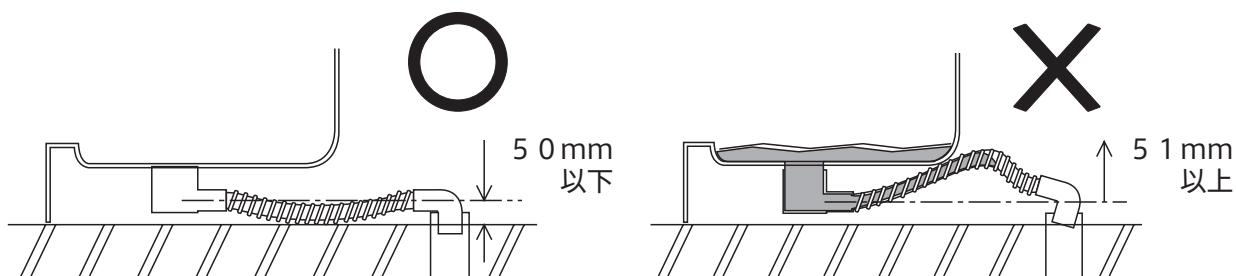
●排水方向（排水ホースの向き）

- ・本体のドレンの向きは真後ろの方向に接着固定してください。
- ・排水ホースの向きは図を参考に配管してください。

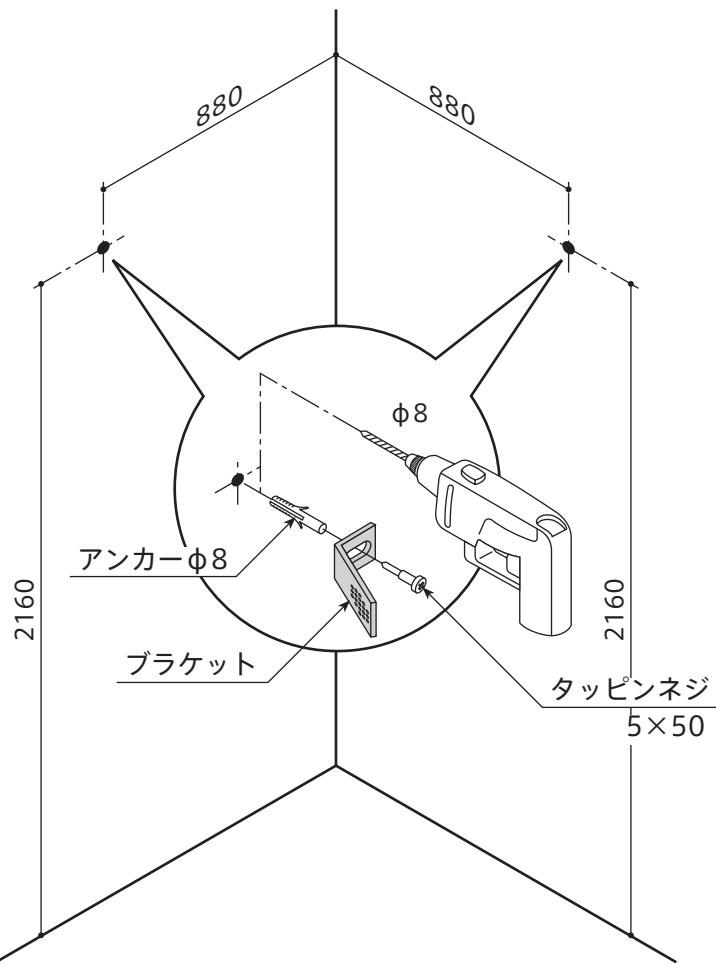


●排水の高さ

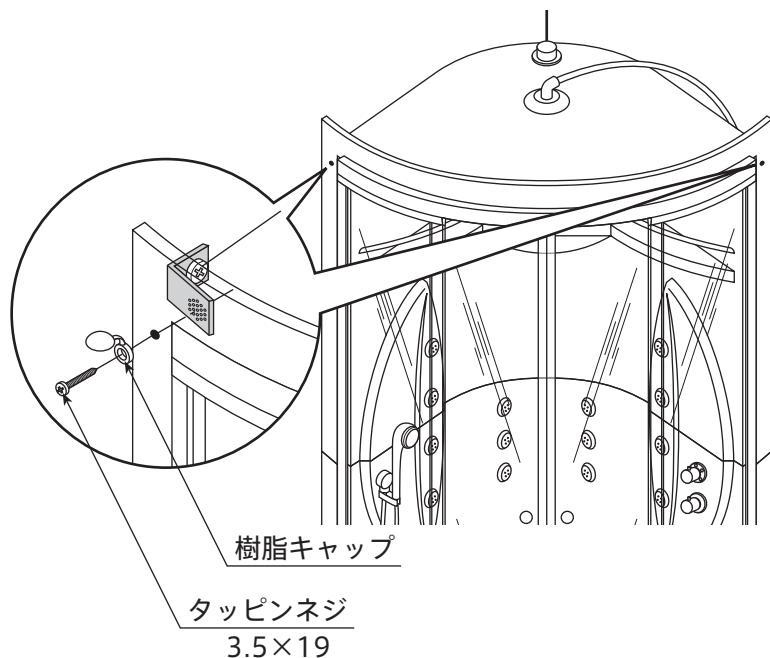
- ・排水ホースの高さはホースのセンターが50mm以下になるように設置してください。
- ※排水ホースが持ち上がるすると汚水が逆流し、排水機能が損なわれる恐れがあります。



■シャワータワー本体の固定



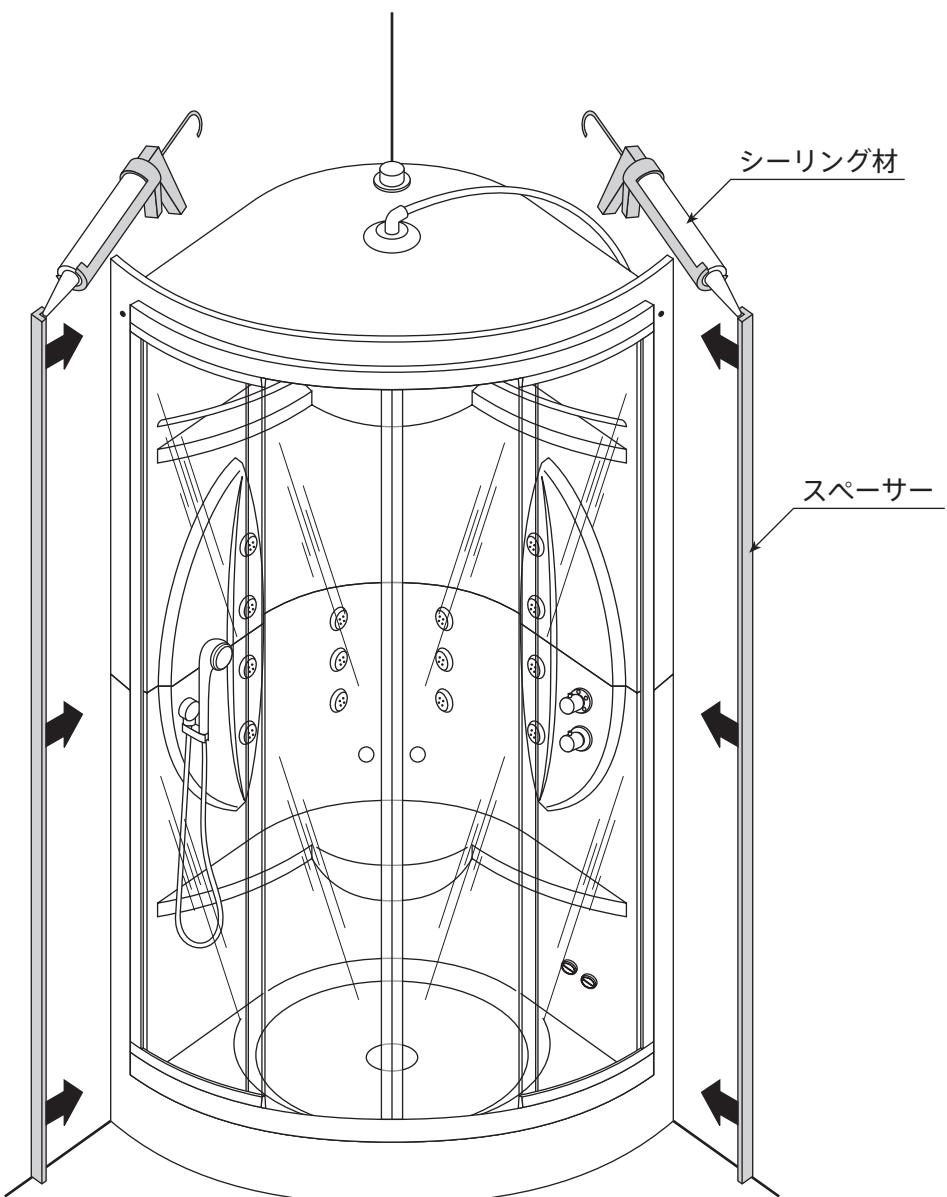
- ・壁にシャワータワー本体を固定する前に、図の位置で壁に穴を開け、ブラケットを取付けます。



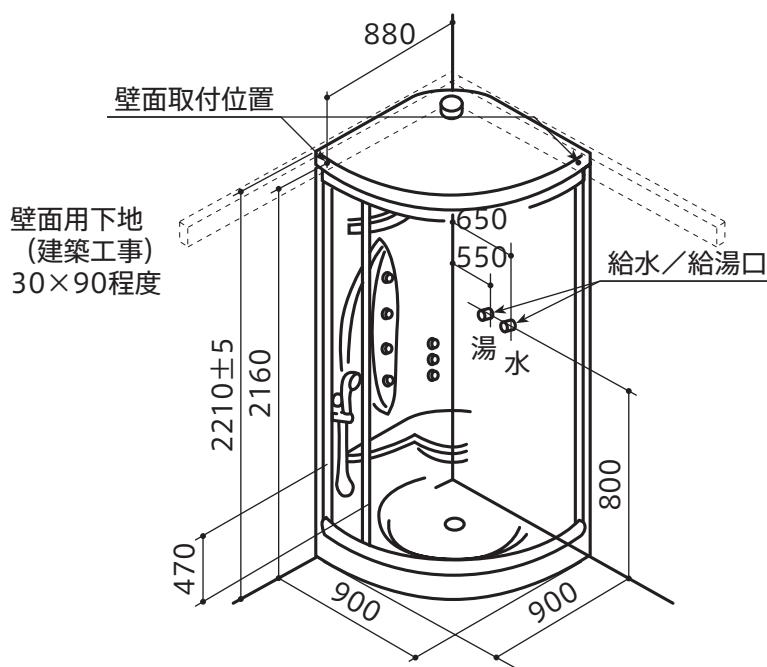
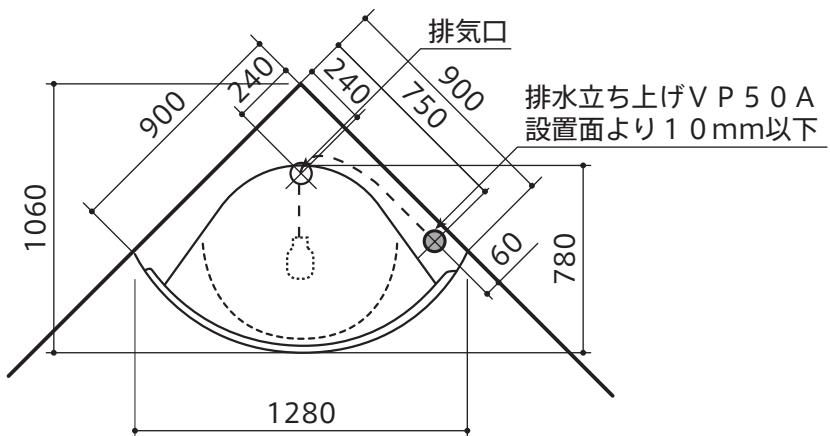
- ・ブラケットとシャワータワー本体の固定穴位置を合わせ、タッピングネジに樹脂キャップを通して固定してください。

### ■スペーサーの取付け

- 必要であれば、シャワータワー本体と壁の隙間をスペーサーで埋めてください。  
スペーサーはシーリング材（クリア）で接着します。



製品寸法図・仕様



本体サイズ	900mm×900mm×2210±5mm	
梱包サイズ	950mm×1310mm×2270mm	
本体重量	84kg	
梱包重量	136kg	
材質	本体	アクリル樹脂+FRP
	扉	強化ガラス
給水・給湯管(結線)	PF1/2	
給水圧	0.196 MPa (2kgf/cm <sup>2</sup> ) 前後	
吐水流量	8~12リットル/分 (2ヶ所同時吐水最低必要流量 8リットル/分)	

## 据付け後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ガラスドア・椅子等の損傷する恐れがある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

### ※水漏れが無いことを確かめてください。

- 本体の配管接続後、全てのホースバンド、樹脂製締め具、配管接続部分等にゆるみが無いか確認してください。
- 給水・給湯接続後、吐水、止水を繰り返しを行い、各接続部分から水漏れが無いか確認してください。
- 排水の接続後、水を流して配管部分と排水部分に水漏れが無いか確認してください。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。  
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。

トヨーキッチン&リビング株式会社  
〒107-0062 東京都港区南青山 6-4-10  
<http://www.toyokitchen.co.jp>

ユーザーサポートセンター  
お問い合わせFAX 03-3406-0750 [info@toyo1.toyokitchen.co.jp](mailto:info@toyo1.toyokitchen.co.jp)  
東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040  
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS112  
07.12